

PIANO DUO CONCERT



Guigla Katsarava



Tetsuya Toei



Kenta Koketsu



Emanuel Rimoldi

4人の名手による2台ピアノの響演

Program

- W.A.モーツァルト / 2台ピアノのためのソナタ 二長調 K.448 (375a)
C.A.ドビュッシー / H.デュティユー編曲 / 『ベルガマスク組曲 L.82』より第3番「月の光」
C.A.ドビュッシー / 牧神の午後への前奏曲 L.86
M.ラヴェル / ラ・ヴァルス 二長調 M.72b
P.チャイコフスキー / バレエ組曲『くるみ割り人形』Op.71a より
A.ピアソラ / リベルタンゴ イ短調
S.ラフマニノフ / 2台ピアノのための組曲 第1番『幻想的絵画』Op.5

2024. **9/19** (木) **19:00** 開演 (18:30開場) **ハクジュホール**

チケット 一般 ¥5,000 (税込・全自由席) ※未就学児はご入場いただけません

【お申込み】 © チケットぴあ t.pia.jp [Pコード : 267093]

【後援】 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

【主催・問合せ先】 エムエムプランニング 080-4689-3648 (10:00~19:00) <http://mmplanning-k.jp>



ギグラ・カツアラヴァ

Guigla Katsarava

パリ・エコール・ノルマル音楽院ピアノ科教授を21年務める。これまで、マルタ・アルゲリッチ、ポール・バドゥラスコダなどが審査員を務める卒業試験で、数多くの首席演奏者を輩出。指導者としての教育学の観点では、多くの文献を通し歴史的背景を反映させた、生徒が興味を抱くような指導方法を探求している。桐朋学園大学、洗足学園大学、ソウル国立大学、ウェーバー州立大学、リオデジャネイロ連邦大学等、世界中の大学から招聘されマスタークラスを行っている。また、多くの国際ピアノコンクールの審査員を務めている。

今まで、ミュンヘン王宮レジデンス、エルサレム・ミュージックセンター、モスクワ・チャイコフスキー大ホール、オペラ・ハノイ、セシリア・メイレスコンサートホール、リオデジャネイロ、カサ・ミラ、アンヴァリッド軍事博物館講堂等でソロリサイタルを行う。イエナ・フィルハーモニー、ポルト・アレグレフィルハーモニー等オーケストラとの協奏曲も多数。2019年には、東京音楽大学と桐朋学園大学にてレクチャーコンサート「20世紀芸術におけるA. スクリャーピンのプロメテウス」と題したレクチャー・コンサートを行う。これまでL. Naumov、L. Berman、T. Amiredjibi、G. Fremylに師事。現在、東京音楽大学特任教授。



桐榮哲也 (とうえいてつや)

桐朋学園大学、ベルリン芸術大学卒業。パリ・エコールノルマル音楽院にて高等演奏課程のディプロムを審査員の満場一致で取得後、同音楽院コンサーティスト高等ディプロム課程にて研鑽を積む。これまでに木村徹、加藤智子、練木繁夫、若林頭、ファビオ・ビディーニ、故エレーヌ・ラピツカヤ、ギグラ・カツアラヴァに師事。ナレンチュフインターナショナルフェスティヴァルコンクール3位(ポーランド)、アグロポリ国際ピアノコンクール4位(イタリア)ほか国内外のコンクールで入賞を重ねる。これまでにルーマニア国立ディヌ・リパッティ交響楽団、ポーランド国立ルブリン室内楽管弦楽団、ポーランド国立ワルシャワフィルハーモニー弦楽四重奏団他共演。「都民芸術フェスティバル2018」では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と東京芸術劇場にてラフマニノフピアノ協奏曲第2番を共演。ソロリサイタルを定期的で開催しており音楽雑誌各紙にて評価されている。2022年よりベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会プロジェクトに取り組んでいる。これまでに「リスト：ピアノソナタ×シューマン：幻想曲」「ブラームス後期作品集」をCDリリース。優秀録音盤や特選に多く選出されている。日本演奏連盟会員、演奏年鑑掲載ピアニスト、全日本ピアノ指導者協会PTNA正会員。TOEI MUSIC SCHOOL代表。また都立総合芸術高校にて後進の指導にもあたる。



纈纈健太 (こうけつけんた)

岐阜県出身。東邦音楽大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻[演奏家コース]首席卒業。卒業時三宅戸為光記念奨励賞受賞。卒業後渡欧し、パリエコールノルマル音楽院 演奏課程ディプロム、高等演奏課程ディプロム、アーティストディプロム取得。シャトゥー国際ピアノコンクール 第1位(フランス)、第8回コニャック国際ピアノコンクール 第2位(フランス)を始め数々の国際コンクールで入賞。

ピアノを中島裕紀、(故)カジミエール・ゲルジヨド、マーティン・ヒューズ、ギグラ・カツアラヴァ、フランソワーズ・ティナ、ブルーノ・リグットの各氏に、室内楽をニナ・パターシェ氏に、声楽を片岡啓子氏に師事。

これまでに、東京文化会館、ウェスタ川越、ヤマハ銀座コンサートサロン、ヤマハ名古屋ホール、日比谷スタインウェイサロン東京 松尾ホール、メルサーホール(ポーランド)、サルコルトー(フランス)、カワイフランス(フランス)など数々のホールで演奏会に出演。また、東邦音楽大学管弦楽団と共演している。

現在は、日本、フランスを中心に演奏活動を行っている。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)演奏会員。

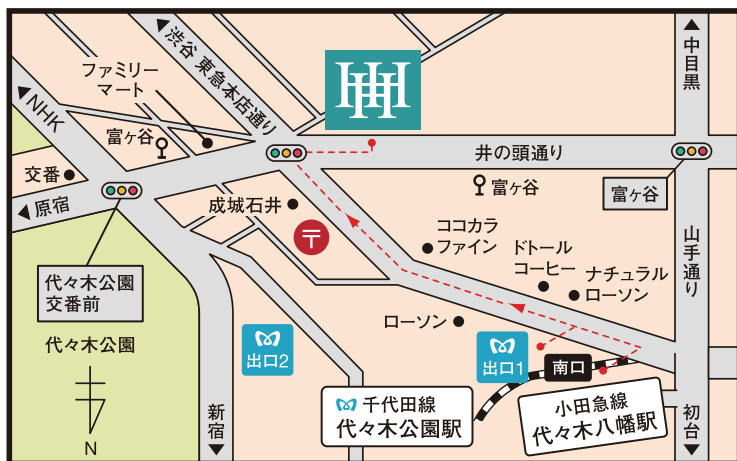


エマニュエル・リモルディ

Emanuel Rimoldi

ミラノでルーマニア人の母とイタリア人の父の間に生まれる。ミラノ・ヴェルディ音楽院を経て、モスクワ音楽院でヴィルサラゼに5年間師事した。ロシアン・ピアノスクールに育まれたイタリア人ピアニストである。ノルウェーのトップ・オブ・ザ・ワールド

国際コンクールで優勝し、その後マンハッタン国際コンクールでもグランプリを受賞。その審査委員長を務めたポゴレリッチからポゴレリッチ賞を授与されて国際舞台に躍り出た後は、カーネギーホール、ウイグモアホール、ミュンヘン・ガスタイクホール、ヴェルディ音楽院大ホールやメキシコの国際ベートーヴェン・ホール音楽祭、ポーランドのドゥニシキ国際ショパン・ピアノ音楽祭などに出演し、各地で熱い支持を得て新聞などでも絶賛。またそれらの演奏はテレビやラジオなどでも放送されている。2017年にアメリカ・コンサートツアーで同国デビューを飾り、翌2018年には日本、ドイツ、ロシアでデビューを果たした。2019年には横浜などみらいホール公演などをはじめとする3度目の日本ツアーを行った。これまでにフランス、スペイン、イタリアで国際コンクールの審査員として携わり、近年はノルウェー、イタリア、日本等各地のマスタークラスで後進の指導にもあたる。また、いくつかの映画音楽の作曲も手がけている。現在、名古屋音楽大学客演准教授。



ハクジュホール

東京都渋谷区富ヶ谷1丁目37-5

株式会社白寿生科学研究所 本社ビル 7F

[アクセス]

代々木公園駅 (千代田線) 出口1より徒歩5分

代々木八幡駅 (小田急線) 南口より徒歩5分

駅出口を左に、商店街沿いに直進すると、5分ほどで大通り(井の頭通り)につきあたります。道路反対側・右手に見える、白い建物の7Fが Hakuju Hall です。